

# かがわ 香川しんじ 通信

第10号

2019年8月20日発行



香川しんじの  
プロフィール

## 福祉のスペシャリストとして神戸のために力を尽くしたい!

1976年12月23日生まれ。神戸大学大学院修士課程修了・兵庫医科大学大学院博士課程修了。理学療法士・博士(医学)。兵庫県立総合リハビリセンター、兵庫医科大学病院での臨床を経て、兵庫医療大学教員として脳卒中や脊髄損傷の運動麻痺の研究に従事。障がいを持って産まれてきた次男の子育てをきっかけに福祉に関心を持ち、大学教員を退職して2011年NPO法人を設立、児童福祉施設を運営。子育てに悩んでいるお母さんたちの声を議会に届けたいとの思いで、2015年神戸市会選挙に立候補したが次点で落選。2017年補欠選挙にチャレンジするも落選。2019年、3度目のチャレンジで4654票を獲得して神戸市会選挙に当選。現在1期目。福祉環境常任委員会に所属。

発行元: つなぐ神戸市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市会内 TEL.078-322-5849

## 議会の一般質問にて初登壇。現場の声を届けました!

6月より神戸市議員としての活動が始まり、常任委員会は福祉環境委員会に配属されました。7月3日には、結成された合同会派、「つなぐ」神戸市議員団の一員として議会に初登壇。一般質問に向けて市民の皆さまの実際の声に耳を傾け、当日に臨みました。これからも、現場主義の姿勢を貫いてまいります。ぜひ、皆さまのお声をお聞かせください!

### 令和元年 第1回 定例市会 [7月3日 議会]

### 一般質問 渾身の4項目です!

質問

1



#### 子育てママの産前・産後ケア事業について

厚労省研究班が行った妊産婦の死因調査では、死因の1位は自殺、2位はがん、3位は心疾患でした。妊娠中や産後1年未満に死亡した妊産婦357人のうち、約3割の102人の妊産婦が自殺で命を失っております。

神戸市でも2017年度から産後4か月未満の母親と乳児を対象に市内7か所で、年間予算1,200万円を使って産後ケア事業を行っています。2018年度の日帰り利用は、1か月平均人数2.8人しかいませんでした。

市内には、産前産後の相談やママ友との居場所づくり、産後ケアに取り組んでいる民間団体があり、身体的・精神的ケアのサービスを低料金で提供しています。これらの団体に対して、神戸市として何らかの支援を行い、産後のお母さんが子ども連れでくつろげる居場所を市内に増やすべきであると考えます。経済的支援や環境的支援と同じように、母親の精神的支援というのが少子化対策には必要です。

質問

3



#### 視覚障がいの方が情報収集しやすくなるための音声コードの活用について

視覚障がいの方で点字が識字できるのは10~20%です。最近、視覚障がいの方は、スマートフォンの音声読み上げ機能を利用して情報収集をしている方が増えています。何らかの障がいがあっても、知る権利を保障する工夫が公共サービスには求められています。

神戸市においても、障がい者差別解消法の趣旨に基づき、視覚障がいの方への合理的配慮として、広報誌や通知書に音声コードを設置して、情報収集のしやすさを高める支援を進めていくべきだと考えています。

スマートフォンは多言語対応をしているため、街中にある掲示板などの情報も音声コードにして設置すれば、神戸市に来られる外国人の方も利用できます。オリンピックに向けて東京都が本格的な導入に動き始めていますので、神戸市にもぜひ導入を検討していただきたい。

質問

2



#### 障がい児童の通学支援について

障がい者の外出を支援する福祉サービスは、生活上必要不可欠な外出に限られ、通勤や通学には利用できません。しかし、市町村が実施主体となっている移動支援事業では、各自治体の判断で柔軟にサービスの範囲を定められるということで、最近では移動支援を通学支援に利用できる自治体が増えてきています。

障がいの有無にかかわらず、小学校入学後は、付き添いなしで通学することが一般的です。しかし、「障がいのある子どもの場合、通学の付き添いが親の自己責任」のようになっていることが問題であると考えます。神戸市も通学に移動支援事業が使える体制にはしておかなければならないと思います。

今回の一般質問では、今後も通学に福祉サービスを使用できるようにはなりませんとの答弁でしたが、れいわ新選組の2人の参議院議員の登庁をめぐって、制度が変わる可能性がでてきました。今後も、継続して通勤、通学に移動支援事業が使えるように訴え続けます。

質問

4



#### 教員の長時間勤務と学校行事の減少について

神戸市が行った「教職員勤務実態調査」では、「過労死ライン」の月80時間の時間外労働を行っている教員が多数存在していることが明らかとなりました。

神戸市では2017年度から教員の多忙化対策を行ってきましたが、2018年度の教職員の時間外労働は以前と変わらず横ばいのままです。教員を増員するような大胆な改革が必要であると訴えましたが、これに関しては渋るような答弁でした。

毎日新聞の報道では、現場の教員の78.5%が「教員の増員」を求めています。神戸市が行ったアンケート調査でも、「体調が悪くても代わりの教員がいないため、無理をして出勤している」、「少人数教育を実現させるためにも、教員の定員増を図ってほしい」との声があがっています。

神戸市教育委員会では、教職員の長時間勤務対策として、校外学習や宿泊行事について見直し(減少や廃止)を行います。保護者からは「子どもたちの学びの機会を失わせたくないとの声」があがっております。もっと、現場の教員の声、保護者の声を聴いていただきたい。



つなぐ神戸市議員団  
神戸市会に  
新旋風!!

私たちが  
「市政」と「市民」をつなぎます!



4月の選挙後は、合同会派を作ることにチカラを注いでおりました。議会は数の原理です。多くの議員でチームを組むことが、政策実現の近道です。それも5人の会派を組めば、交渉会派といってグレードがひとつ上がります。議会の運営会議、特別委員会への参加、議会の質問時間の確保、そして何より政策について話し合える仲間がいることは、心強いです。

とはいえ、議員というのはひとつクセもふたクセもある人が多いです(私も含めて)。そこで、何度も話し合いを重ねて、会派を組む目的、会派のルール、政策の基本的なスタンスなどを決めて、会派を組むことができました。

新会派を構成するのは、浦上忠文(無所属・東灘)、小林るみ子(新社会・灘)、あわはら富夫(新社会・中央)、高橋ひでのり(無所属・垂水)、香川しんじ(神戸志民・西)の5人です。

記者会見の中で、団長の浦上さんは「5人は市政へのスタンスに大きな違いはない。議会報告会の開催をはじめとする議会改革の推進など、共通政策を掲げて一緒にやっていながら神戸市会に新しい流れを作っていきたい」と決意を述べられました。

幹事長のあわはらさんからは、「つなぐ」という会派名には、①市政と市民を「つなぐ」、②議会と市民を「つなぐ」、③未来へ「つなぐ」、④市民と市民を「つなぐ」、⑤命を「つなぐ」の思いが込められていると説明がありました。



つなぐ会派の【共通政策方針】

- ① 市民の声を市政に生かす
- ② 市政のチェック機能を高める
- ③ 政策決定過程の透明化と徹底した情報公開
- ④ 「人と暮らしと教育」を優先する行政への転換
- ⑤ 議会報告会の開催をはじめとする市民に開かれた議会改革の推進
- ⑥ 女性や子供の視点を大切にする

さっそく、フリースクールを運営されている方や災害復興支援のNGOの方から現場のお話を聞いて、課題解決に向けた政策を会派のメンバーで検討しています。皆さんからのご意見やご要望もお待ちしております。

へん!  
パパが変だよ  
神戸市会!!



☑ 市民の皆さんがよく使うエレベーターは銀色なのに、議員がよく使うエレベーターは、ゴールド(金色)なのです。まさに、権威主義の象徴。市役所に来ることがありましたら、一度ご覧ください。

☑ 市役所の地下には、議員専用の駐車場があるので。私も議員になるまで知りませんでした。周辺には、市営駐車場があるし、公共交通機関も充実している場所ですよ。年間で何日使用しているのか?

→香川は公共交通機関で市役所に行っていますので、駐車場は借りておりません。

☑ 議会開催中の市役所への交通費(費用弁償)は、西区の議員は1日5,000円も支給されるのです。地下鉄使用すれば、西神中央から三宮まで往復800円ですよ。小学生でもできる交通費の計算。こういった算出根拠なのでしょうか?

→費用弁償は返金することができませんので、供託(預ける)の手続きをしております。

怒り! のツイート

10月の消費税増税が濃厚。増税に伴い、市営地下鉄の運賃が値上がり。西神中央駅から三宮駅が、400円→410円。今でも高い運賃なのに、さらに値上げ!! 軽減税率の対象にならないの? 地下鉄に乗ることは贅沢ということ? 市営地下鉄山手線は年間50億円も黒字出しているのだから、値上げ必要ないでしょ(怒!).

兵庫県バス協会から、神戸市に要望書。「敬老バスや福祉乗車バスの割引した運賃を満額払ってください」え?? 210円のバス運賃区間で敬老バスを使用したら、110円(個人)+100円(神戸市)=210円(バス会社)。神戸市の負担分が満額払われていない?! 敬老バスを使用する方が増えたとし、お金がないから敬老バスの方向性を検討って。また、外出するのに負担増えますやん(怒!).



議員になって2か月、一般常識とはかけ離れたあたりまえに驚かされます。でも、これが1年、2年と過ぎていけば、普通のことになってしまうのでしょうか(恐)。そうならないように、自らを律して活動してまいります。

ここに挙げたことは、議会の中では小さなことかもしれませんが、小さなことだからこそ改善できます。

小さなことから、コツコツと!!